

# 立命館経済學

第33卷 第6号

1985年2月

山田邦臣教授退任記念論文集

内 容

山田邦臣先生をお送りする言葉……………	清水貞俊	1
寄与度・寄与率の理論と応用……………	関 彌三郎	3
近代経済学における日常性と科学性……………	鈴木登	46
——その普遍性・客観性・実証性をめぐっての素描——		
Stagnation 仮説の検討……………	甲賀光秀	74
寡占部門の投資行動規制による最気安定化について…	北野正一	108
ケインズ経済学の理論的發展……………	松川周二	139
——その若干の予備的考察——		
構造変化と政策効果……………	山田 彌	173
——二つの計量モデルによるシミュレーション分析——		
途上国経済援助による世界経済活性化の 可能性について……………	本田 豊	224
日本における政府短期証券市場の現状と展望……………	河野快晴	244
共同研究室……………		268

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第33巻・第4号

論 説

- パーシェ式物価指数の寄与度・寄与率……………関 彌三郎  
現代資本主義の労働制度 (2) ……………三 好 正 巳  
——国家独占資本主義の社会政策論のために——  
IBM社の組織変革 (8) ……………坂 本 和 一

研 究

- 交通経済学体系と方法論上の問題点……………森 田 優 己

翻 訳

- M・K・バンドマン著『圏域生産コムプレックス』……………杉 野 罔 明  
共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第33巻・第5号

論 説

- 資本輸出の諸問題について……………岩 田 勝 雄  
「社会主義経済と国家」にかんする覚書 (中の2)……………芦 田 文 夫  
——「経済的メカニズム論」とのかかわりで——

研 究

- 貨幣・信用恐慌と中央銀行準備金……………竹 味 能 成

資 料

- 日本資本主義確立期の資本家名簿 (5) ……………後 藤 靖

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会